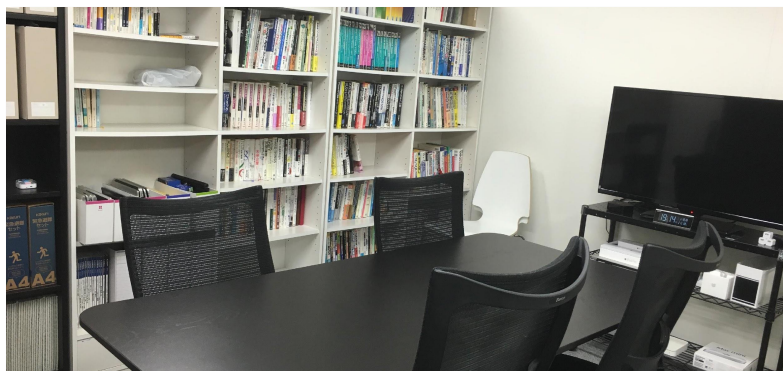


espar

WordPressサイト静的化サービスの御紹介

rev. 202104



設立日 2006年7月7日

所在地 大阪市北区東天満 1-12-11

代表者 大石 裕一

資本金 1000万円

従業員数 6人 (アルバイト、外部パートナー含む)

免許/資格 ACN  Consultants Network
AWS Technology Partner
情報処理安全確保支援士  
Standard Technology Partner

Web <https://www.feedtailor.jp/>

Webサイト高速化・セキュリティ強化事業

espar

WordPressサイトの静的化技術を提供し、サイトの高速性と安全性を高めるサービス

espar Form

静的ページ上で動作する、PHPが不要なJavaScriptベースのメールフォームツール

エンタープライズiOSアプリ 事業



自社・受託をあわせて実績120個以上。2008年より事業化。B2Bアプリが得意

 エンタープライズiOS研究所

エンタープライズiOSを専門とする国内唯一の特化型メディア

espar のコンセプト

セキュリティ対策も負荷対策も全てお任せ

WordPressサーバ側は何もしなくても espar が全て対策

espar でご提供できるもの

- 最高速応答
- 負荷対策
- 攻撃対策
- 攻撃無効化
- 保守監視
- 常時SSL化

制作側・運営側で上記をやらなくてもよくなる → コンテンツに集中できる

WordPressの課題が現場を（永遠に）苦しめる

画面が真っ白になったんですが...

サイトの表示が
重くなってきたのですが...

WordPressのバージョン
上げなくて大丈夫ですか？
脆弱性が心配で...

重すぎて記事投稿が
できません...

サーバ会社のメンテで再起動するら
しいのですが大丈夫ですか？

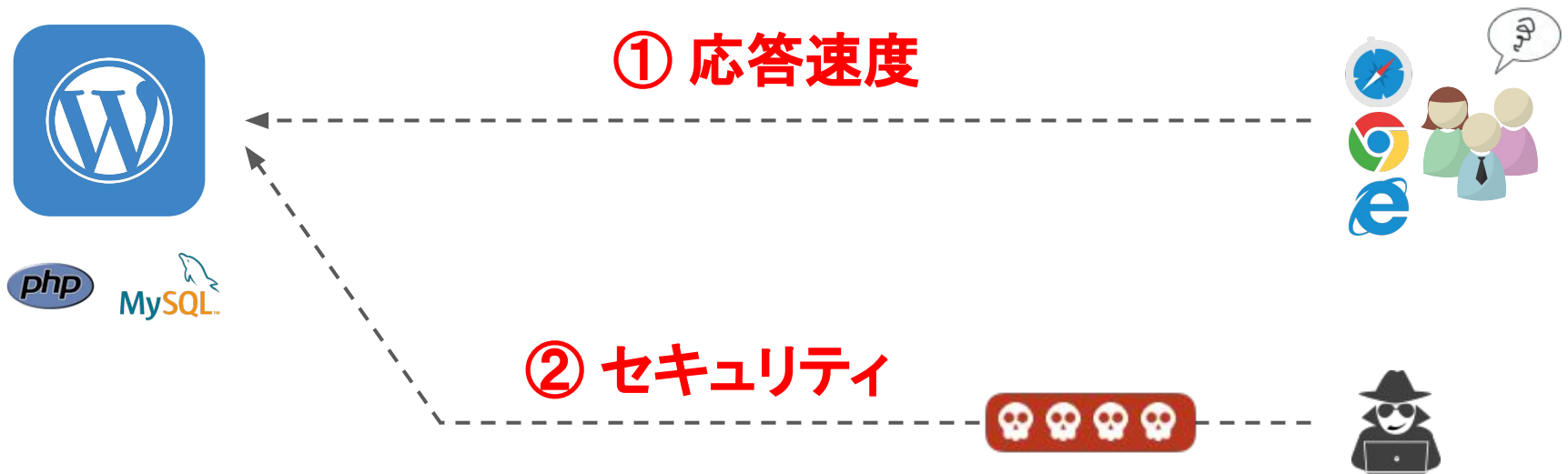
明日メディアに出るんですが
サーバ落ちませんか？

常時SSL化をしたいのですが...

トップページが改ざんされてし
まったのですが...

500 Internal Error ってます...

Webサイト諸問題の全ての原因



インターネットにサーバを晒すことが問題の引き金

espar の課題解決アプローチ

サーバは公開せず、
サイトを公開する！



静的化

(htmlファイル化)



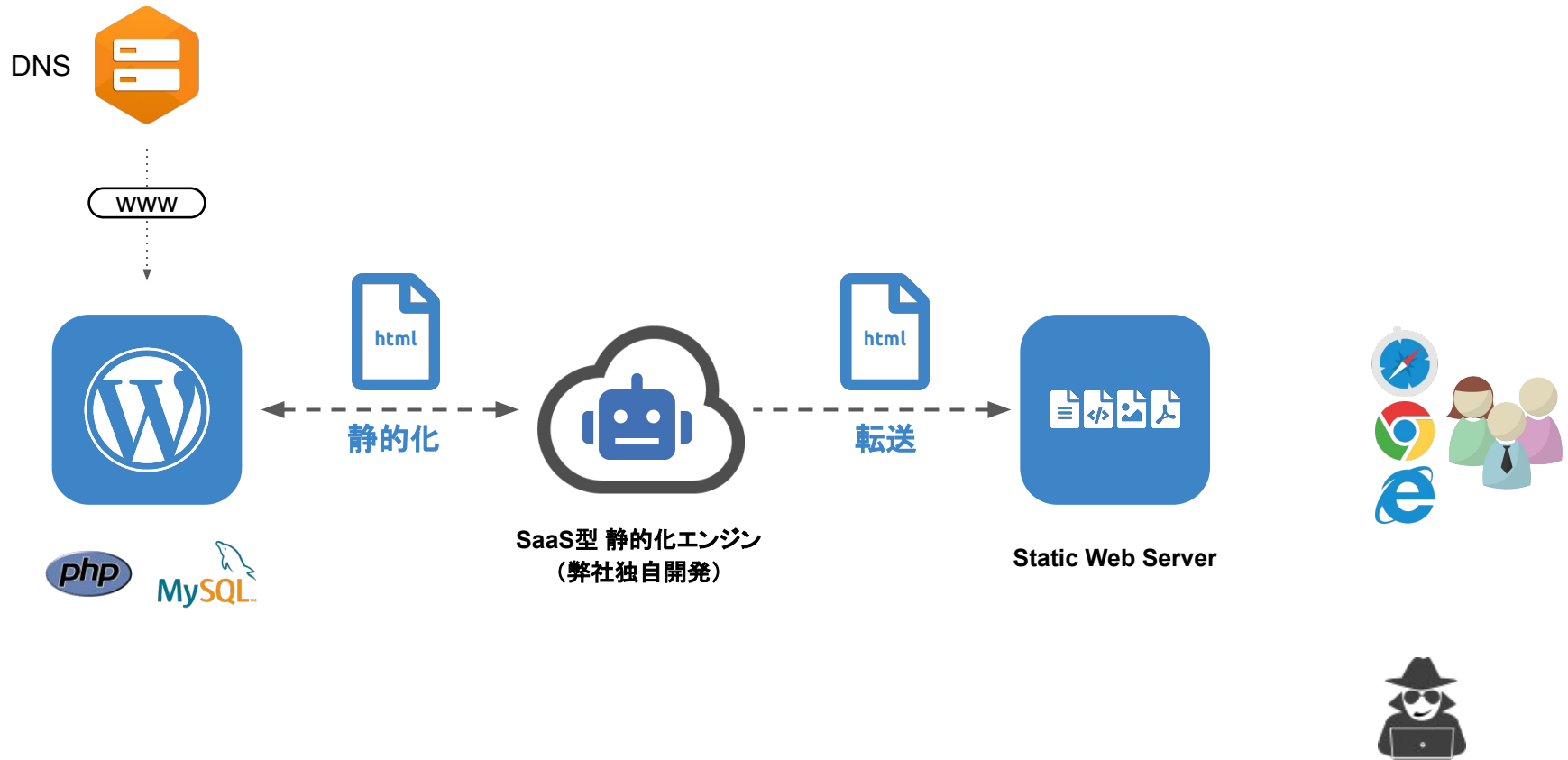
サイトとは、つきつめれば **html ファイル** である。
html ファイルではNGな箇所**のみ**プログラムやDBを動作させるべきである。

espar の課題解決アプローチ



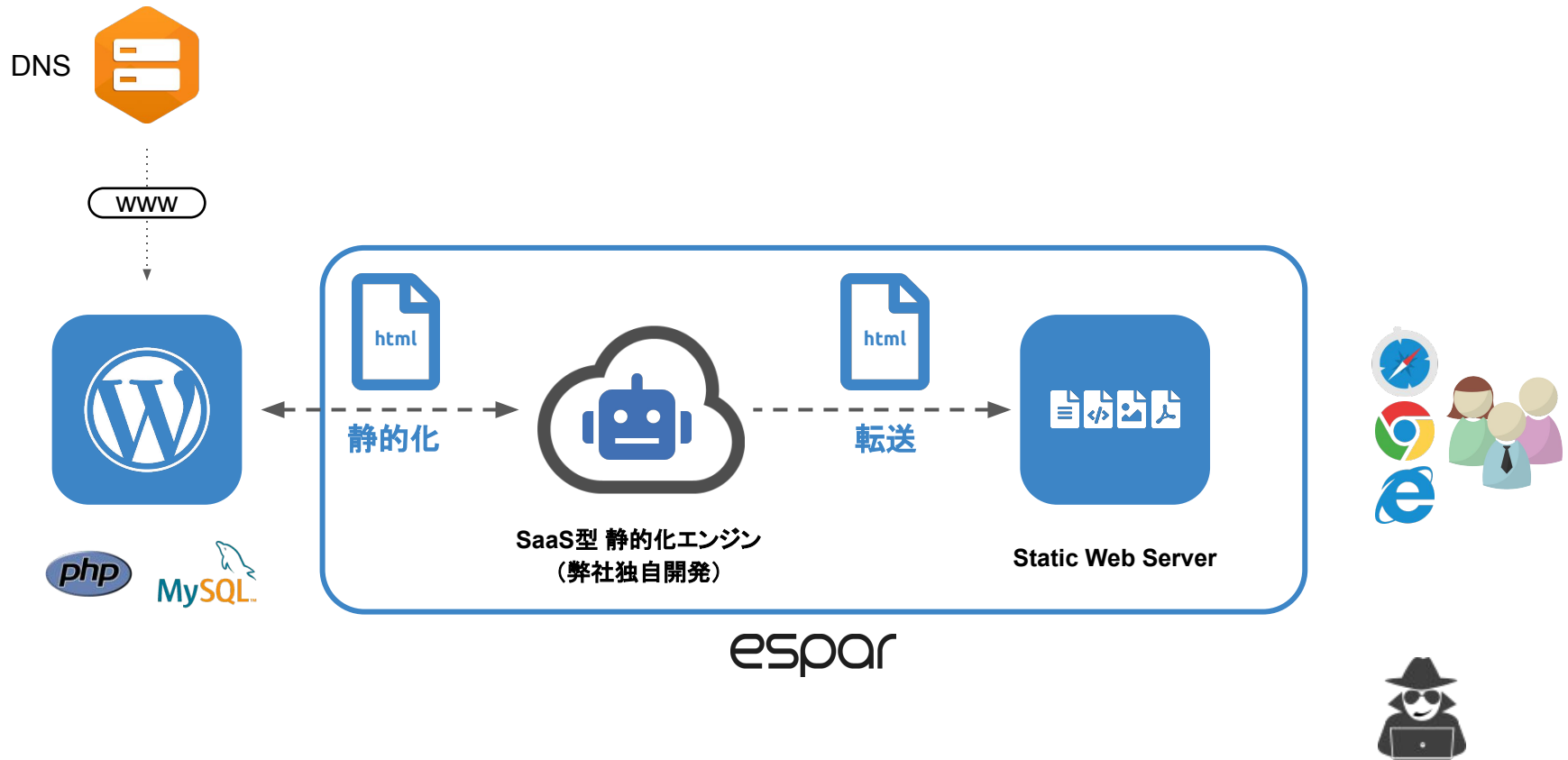
静的化エンジンは Google BOT のようなもの
全ページをクロールしhtmlファイル化する。必要な画像やcssファイルも取得する。

espar の課題解決アプローチ



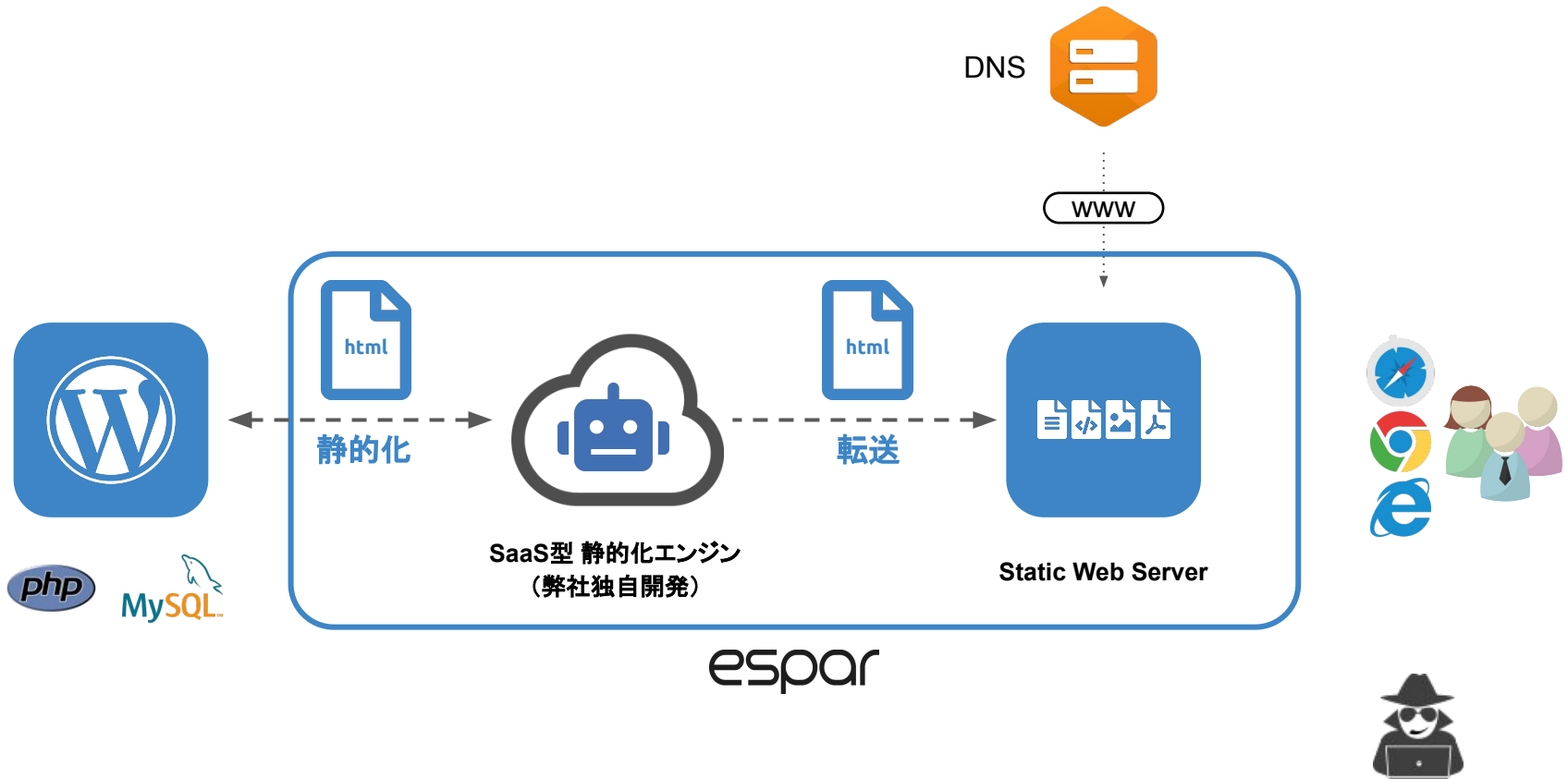
html化したファイルを公開用サーバ(弊社運用)に転送する

espar の課題解決アプローチ



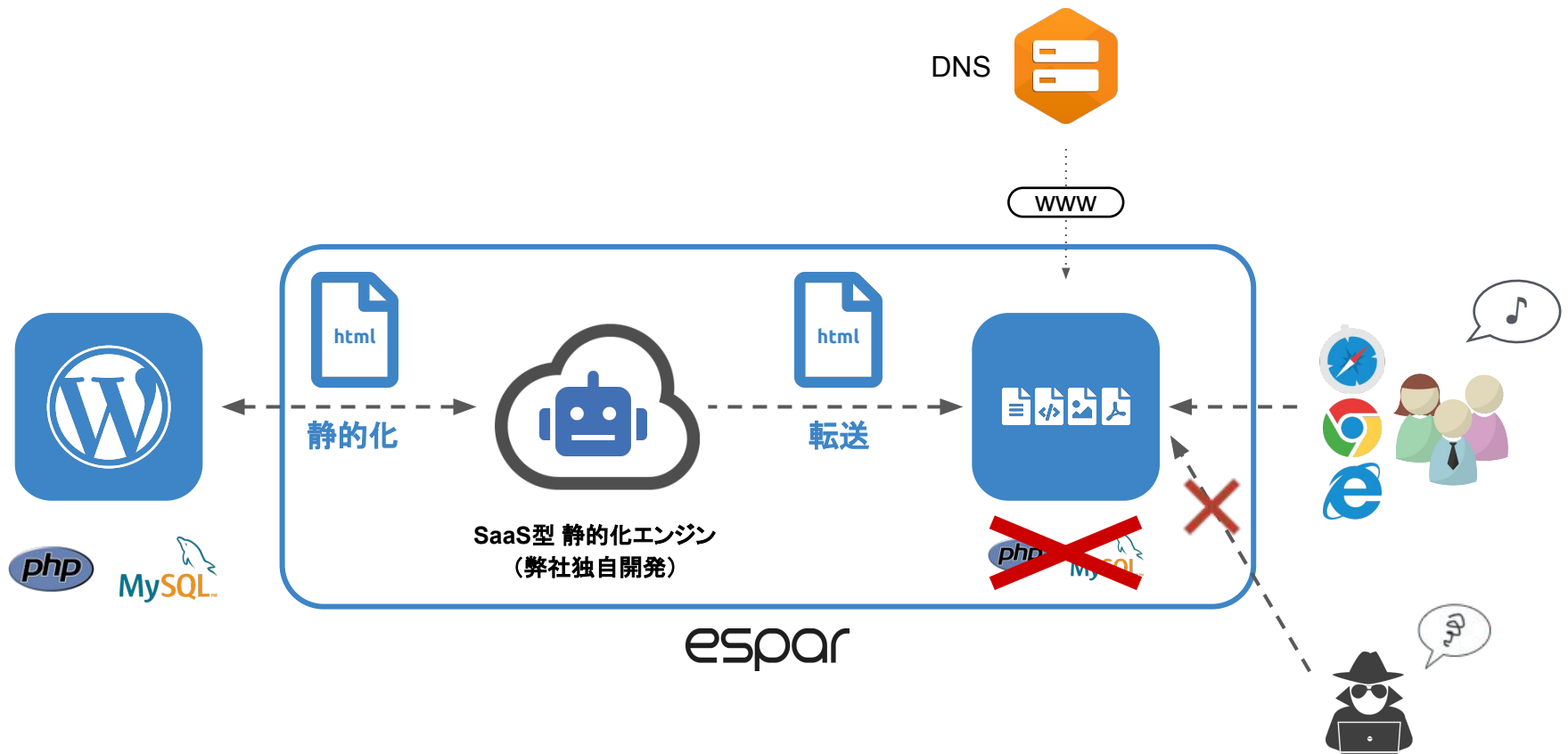
静的化と公開サーバが弊社の責任範囲

espar の課題解決アプローチ



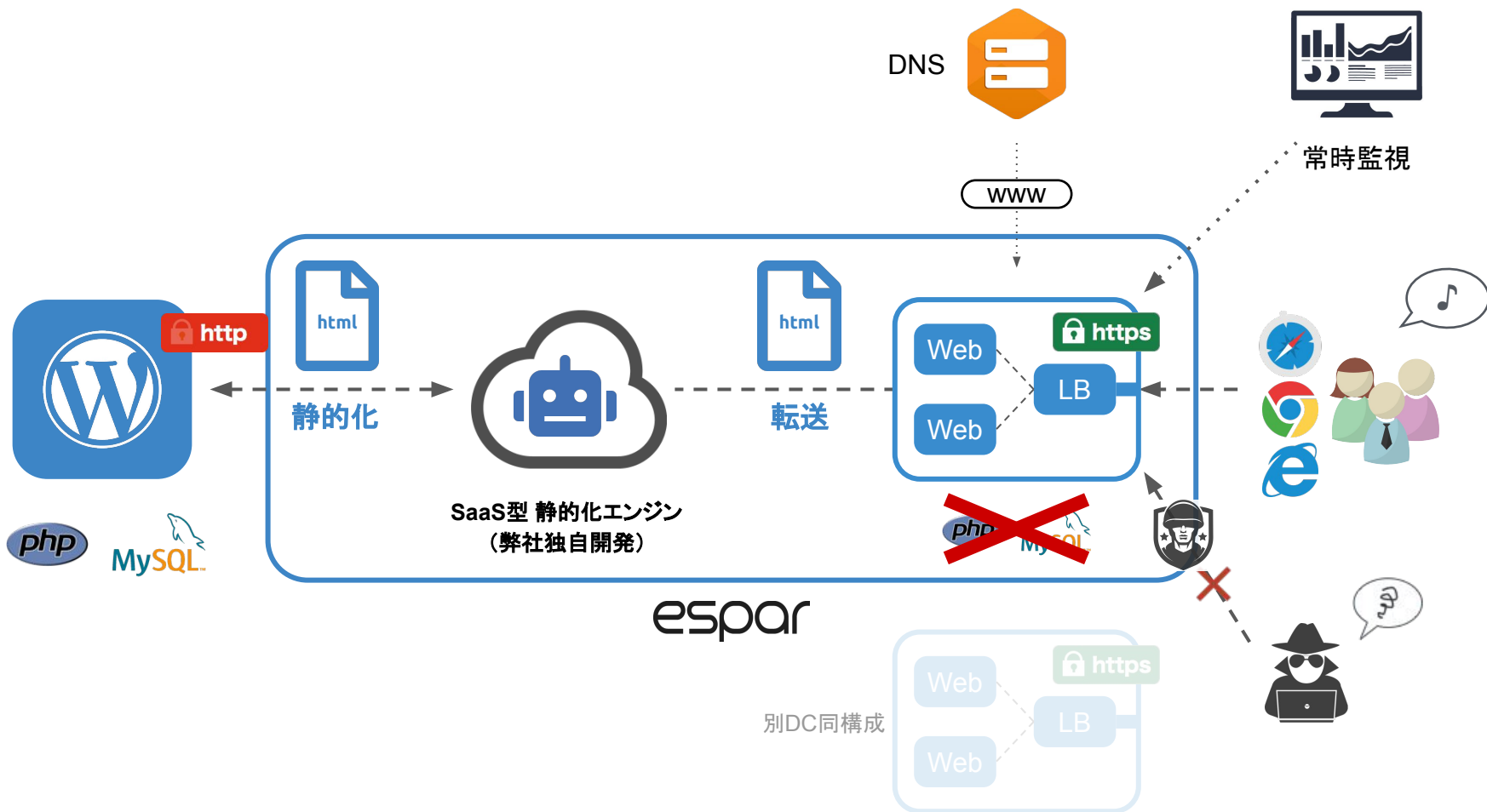
DNSを変更し、公開サーバ側に向ける

espar の課題解決アプローチ



最高速度で応答。さらに、http/https層の攻撃は理論上成立しない
(プログラムが動かないため攻撃が実質無効化。ただし**後述の動的要素は例外**)

espar の課題解決アプローチ



任せられるからには徹底的に公開サーバとしてできることを全て実施
(常時SSL化、監視、攻撃対策、負荷分散、冗長化、災害対策、その他運用保守)

espar でご提供できるもの+α

- 最高速応答
- 負荷対策
- 攻撃対策
- 攻撃無効化
- 監視
- 常時SSL化
- Web技術の相談相手
- 制作に集中できる環境

経験的裏付け



600万ダウンロード超えの人気アプリのサーバ運用経験
国内200社1万人以上が常用する企業向けアプリの開発と運用経験
(いずれも事業譲渡済み)

技術的裏付け



AWS テクノロジーパートナー
情報セキュリティ国家資格

サイトを強化するだけでなく、インフラ担当の専門部署を持つのに等しい

導入実績（一部）



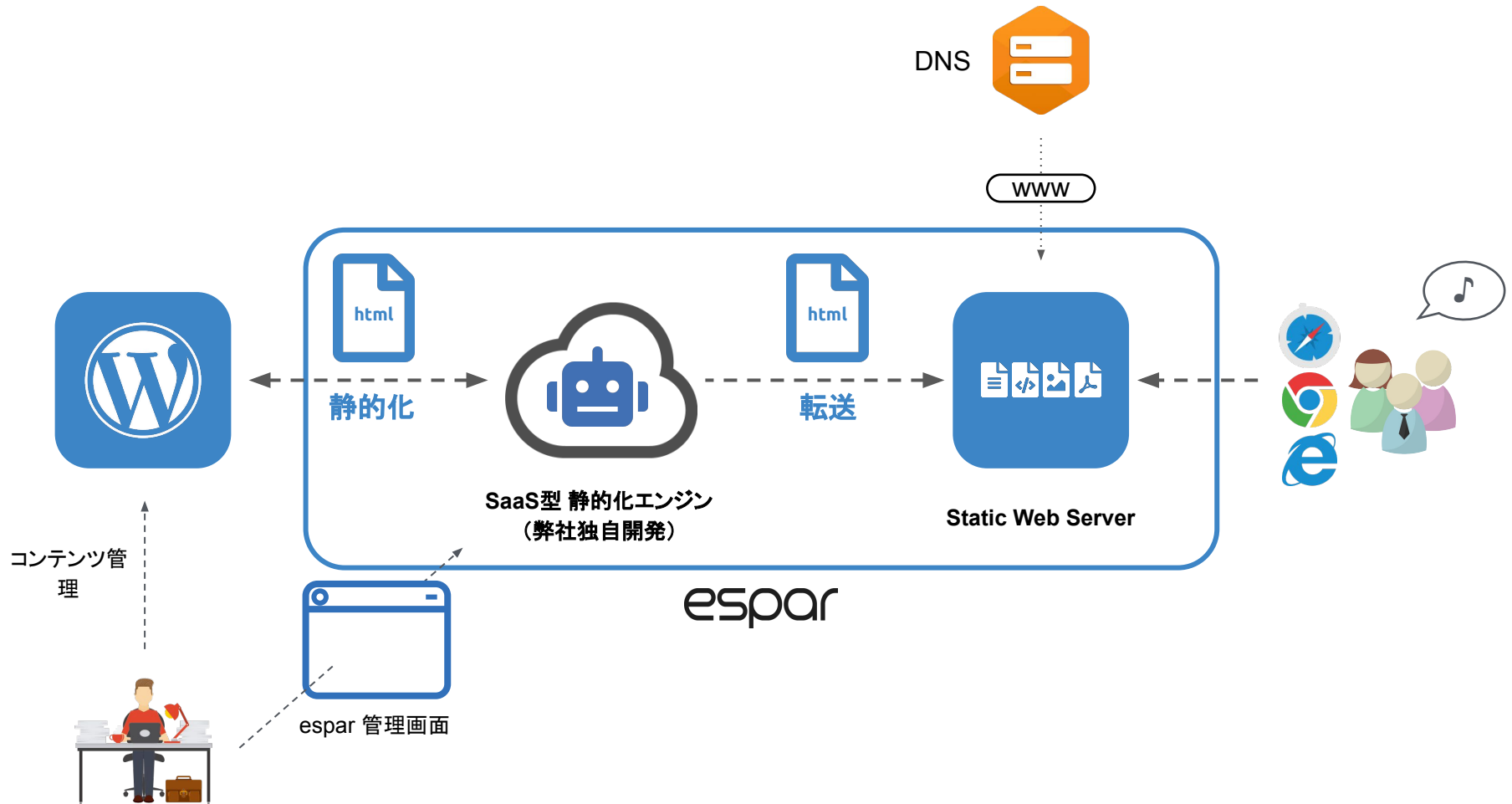


よくあるご質問



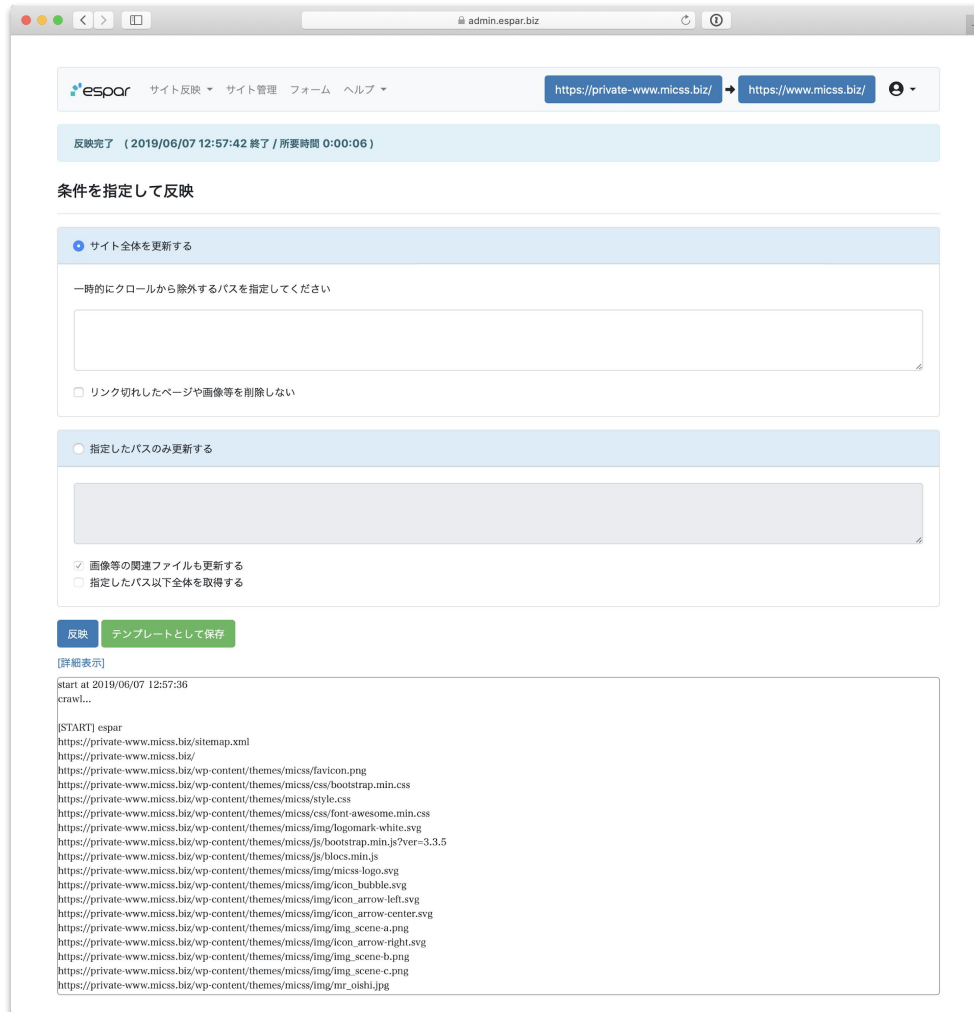
- ❑ サイトの更新手順は？
- ❑ 更新はリアルタイム？
- ❑ 自動更新はできる？
- ❑ 予約投稿は？
- ❑ フォーム等の動的要素は動作する？
- ❑ 管理画面のURLはどうなる？
- ❑ 公開サーバに別のものは使える？（他社DCやIaaS）
- ❑ WAFやCDNとどう違う？
- ❑ 導入手順は？価格は？
- ❑ 静的化エンジンそのものは提供可能？

② サイトの更新手順は？更新はリアルタイム？



リアルタイムではない。管理画面から明示的に手動で「静的化」を行う。
(MovableTypeでの再構築に相当するオペレーション)

espar 専用の管理画面を用意

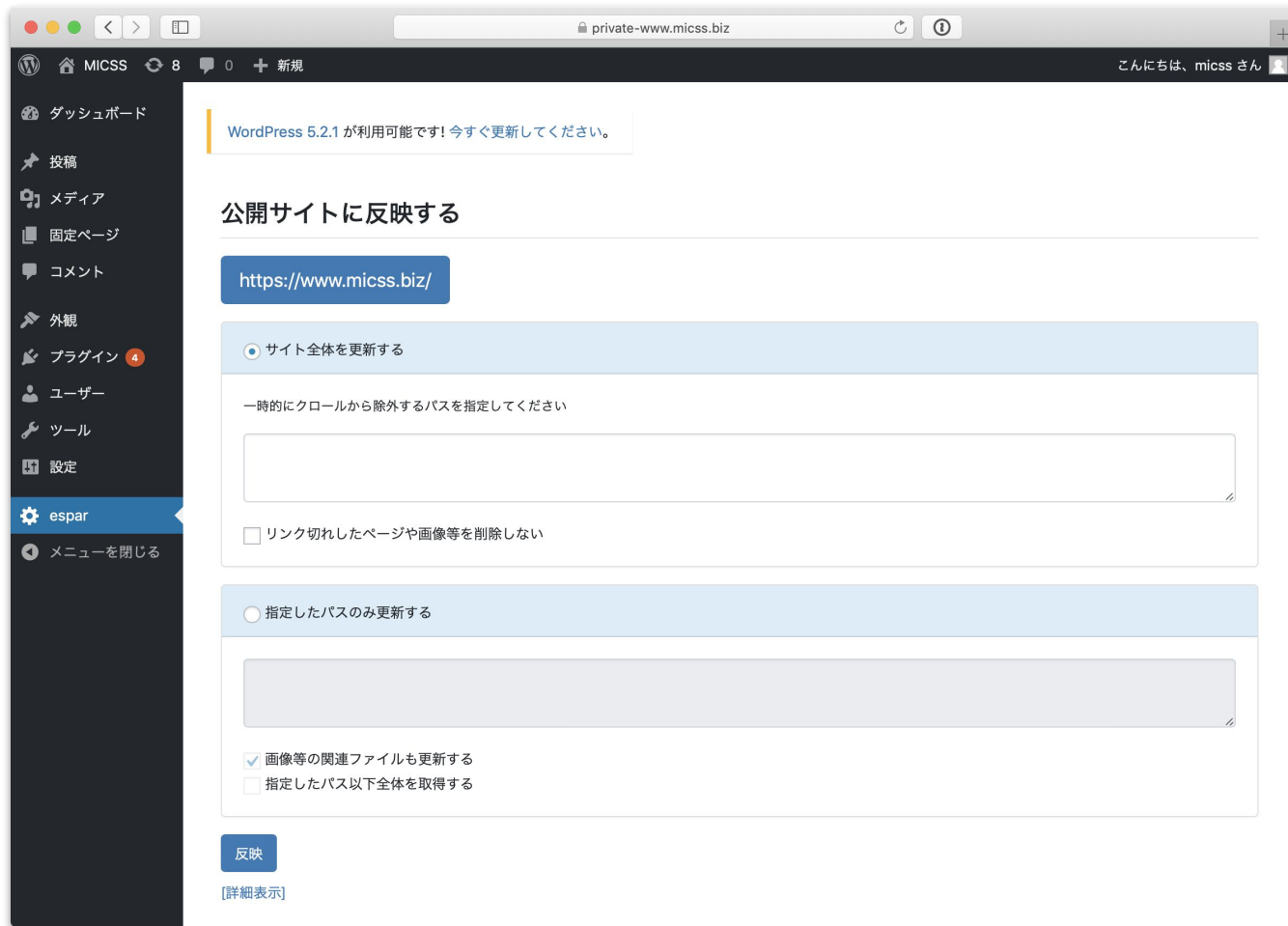


主な機能

- サイト全体の静的化
- 特定ページのみでの静的化
- robots.txtなどトップから辿れないリソースの個別取り込み
- 静的化の履歴表示

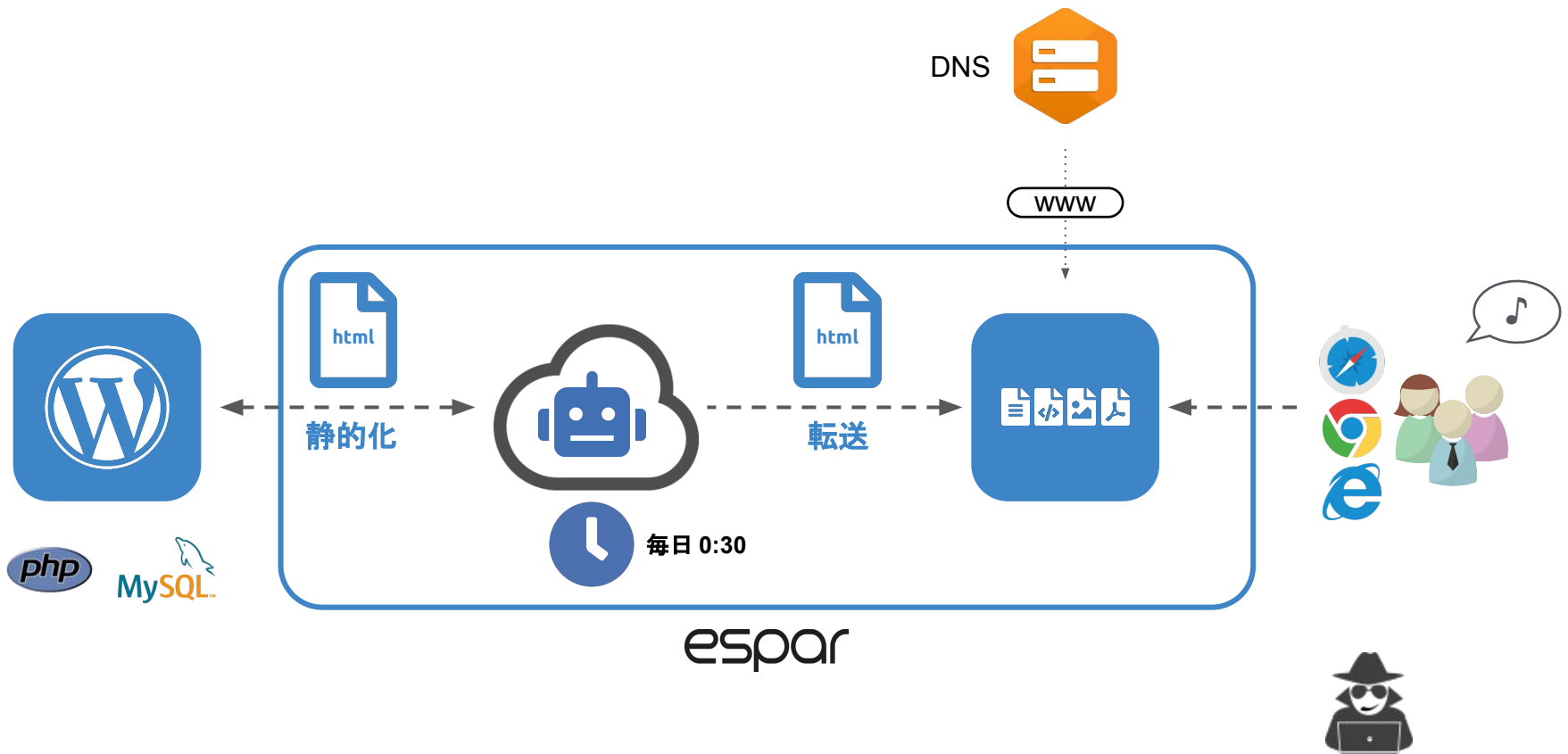
定期的に自動静的化することも可能ですが、管理画面からは設定不可
自動静的化はご連絡を頂き弊社が設定を行います

WordPressの管理画面で操作できる専用プラグインを無償提供



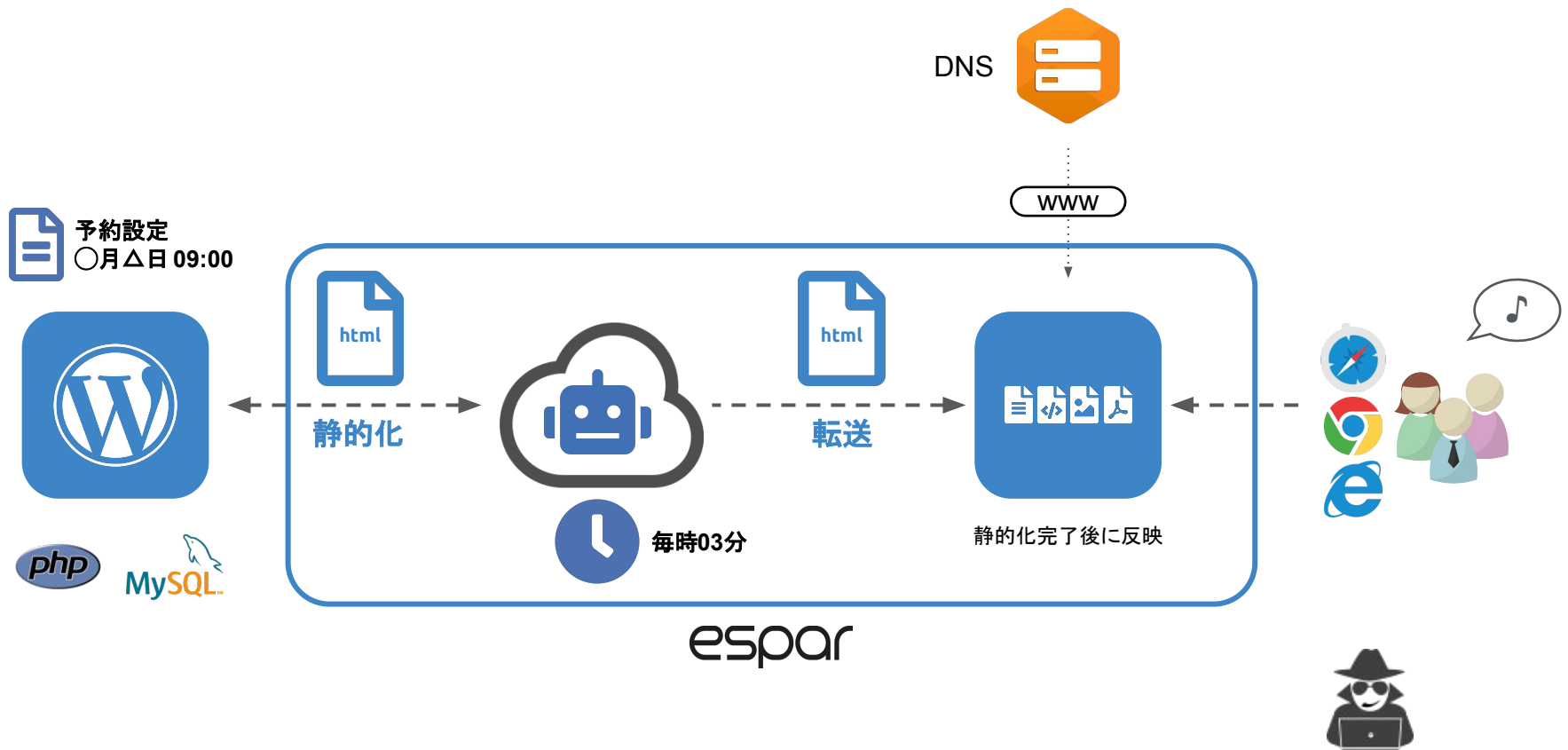
無償でプラグインを提供。基本的な静的化の操作はWordPress内で行える

② 自動更新はできるのか？



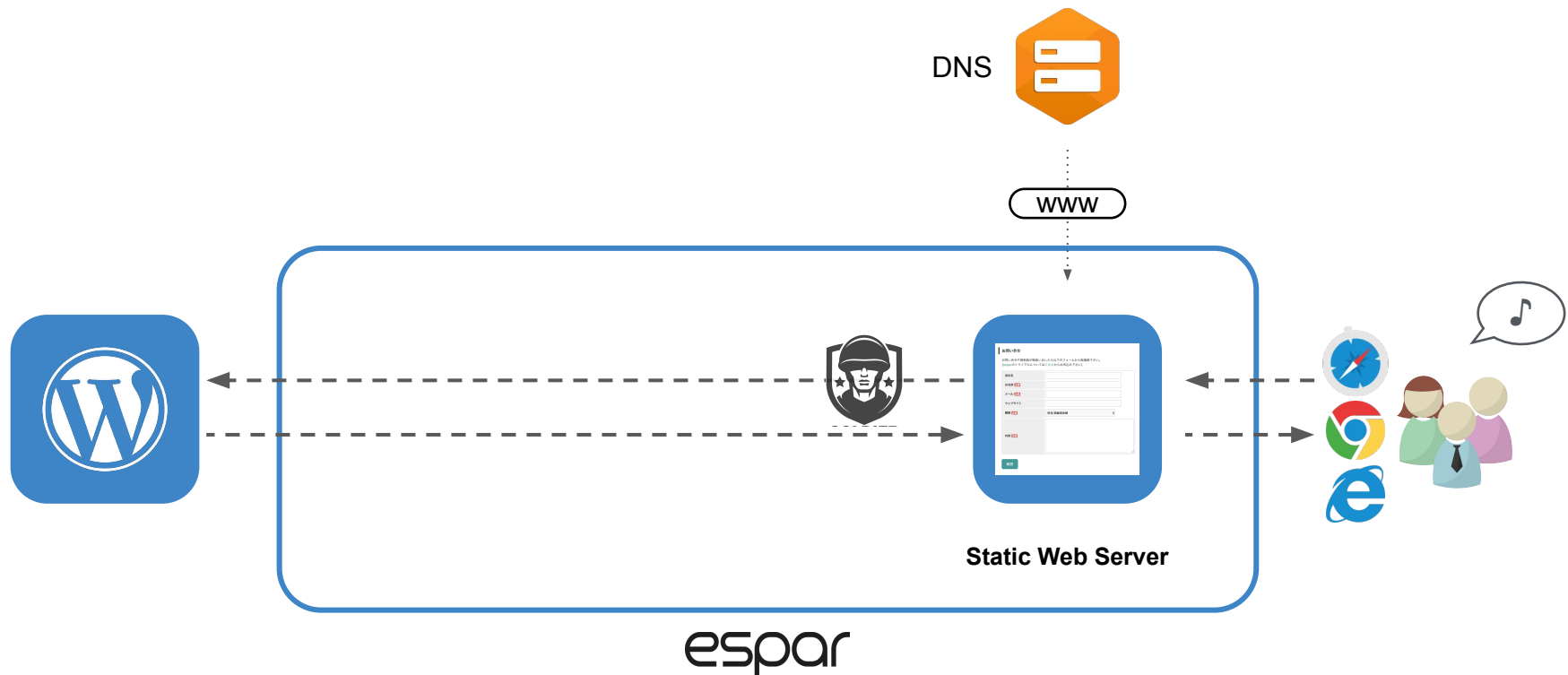
1日1回頻度の定期的な自動静的化タイマーを設定可能(曜日・時・分指定)
1日2回以上のタイマー発動が必要な場合は追加料金 ¥1,100/月

① 予約投稿は可能なのか



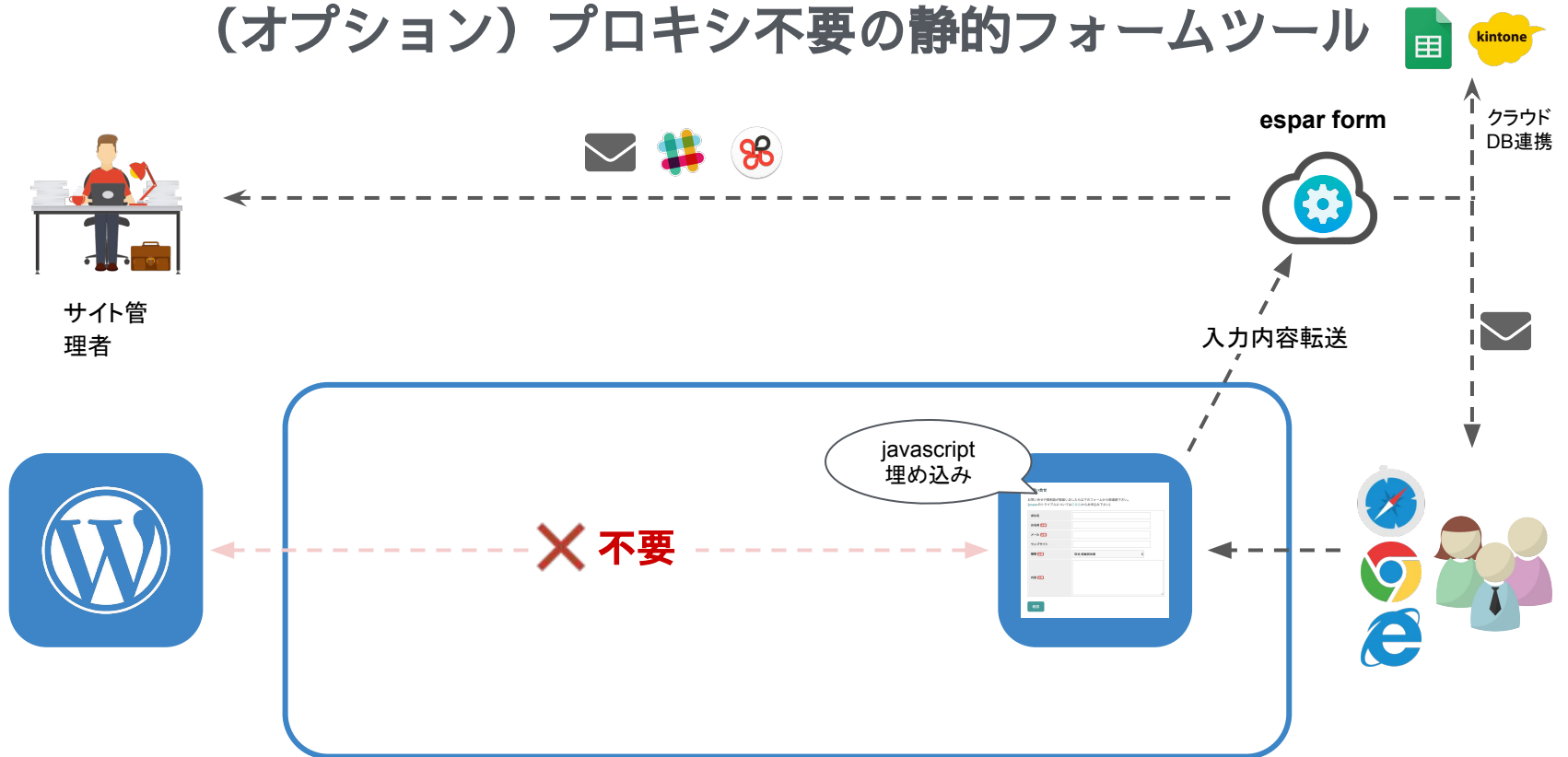
タイマー機能と組み合わせて予約投稿が可能
(例) WP側の投稿公開日時を00分にして、esparでは毎時間03分に自動静的化する

① フォーム等の動的要素は動作するのか？



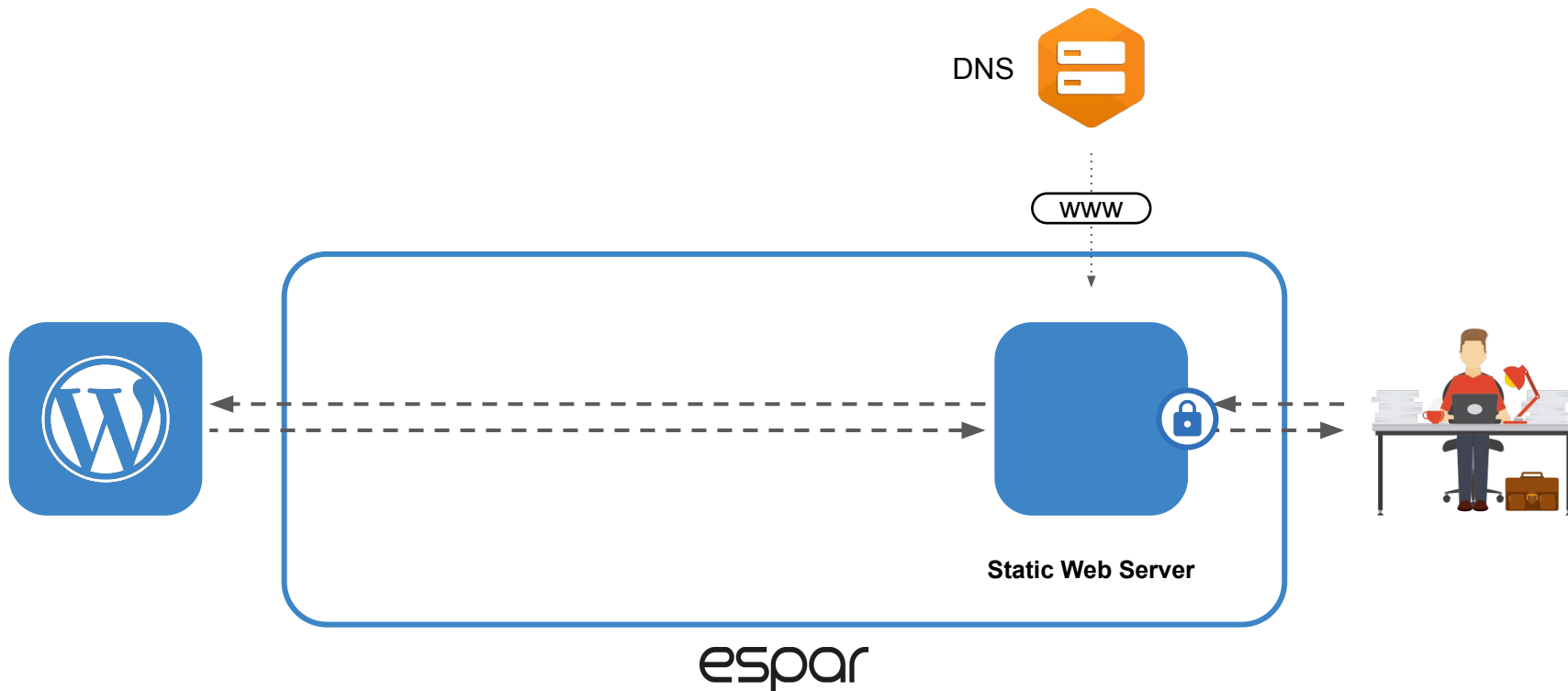
プロキシ技術を使用。必要な箇所のみWordPress側に転送することで動作可
ただし当該箇所は「サーバを晒す」と変わらなくなるため、個別にセキュリティ対策を推奨

(オプション) プロキシ不要の静的フォームツール



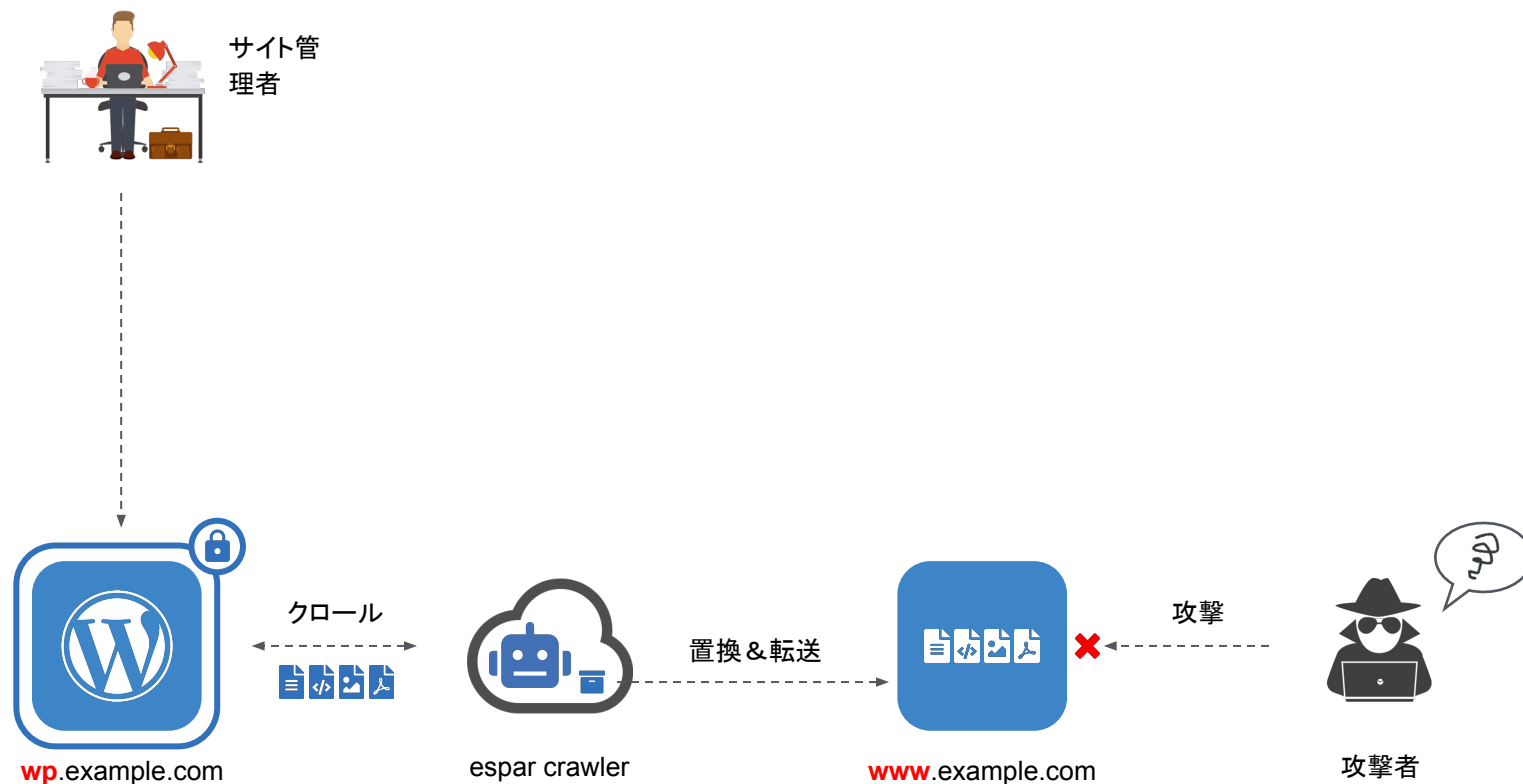
PHP不要のJSで動く静的フォームツール **espar form** をオプションでご用意。
問い合わせフォームのためのプロキシが不要となりセキュリティが向上する。

① 管理画面のURLは変わるのか



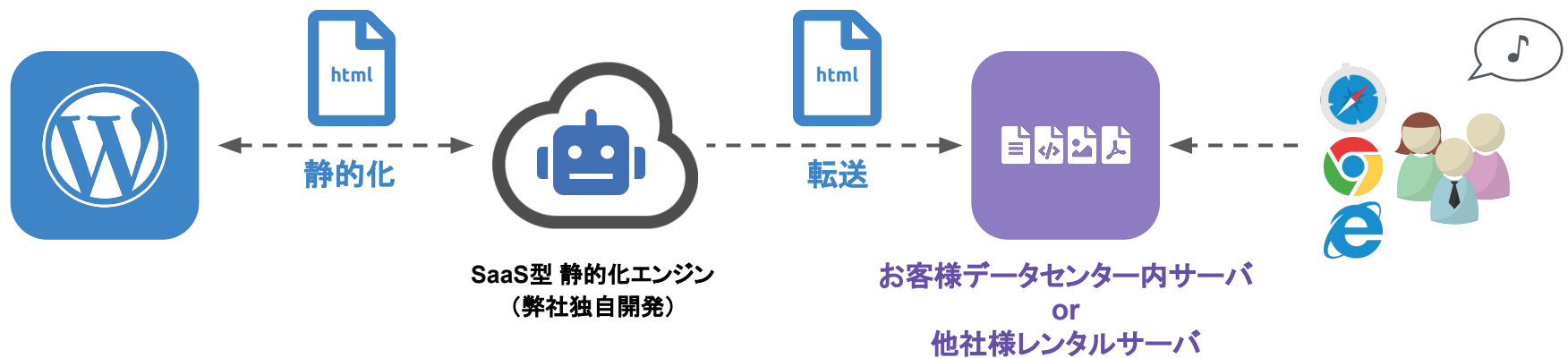
従来どおりのURLで使用可。エンドユーザには全く影響なく従来どおり操作可能。
管理画面へのアクセスがIPアドレスに変わる...といった変化はない。

(オプション) 理屈上、攻撃不可となる理想の構成



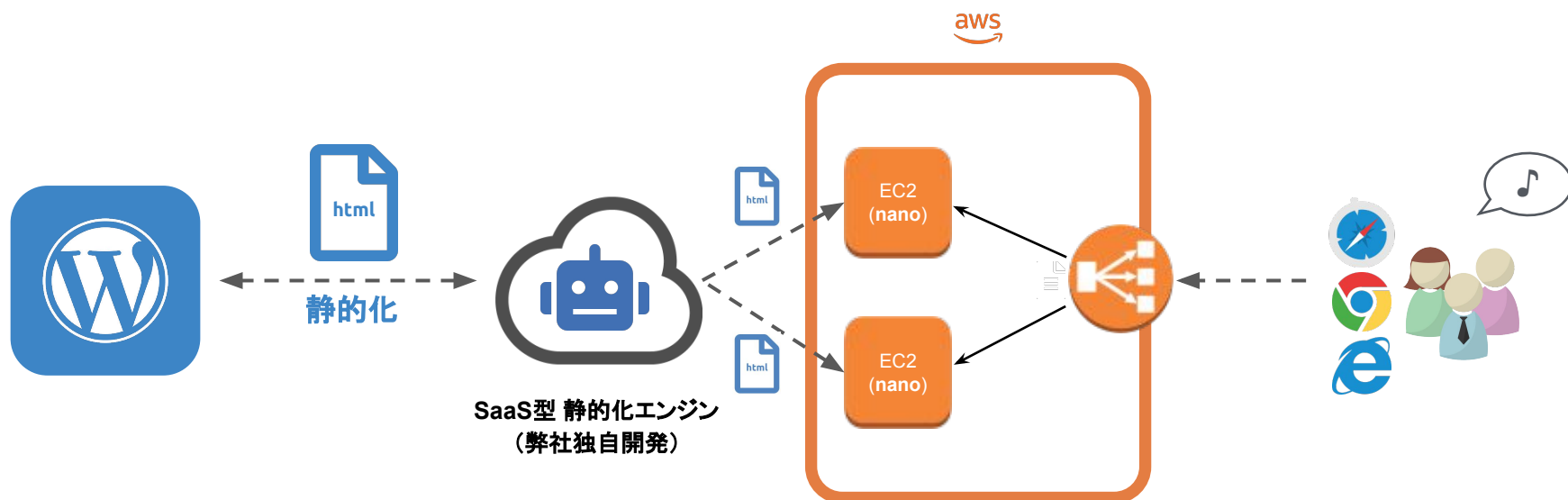
WordPress側を別ホスト名にして完全に隠蔽。静的化時にホスト名の変換を行う。悪意ある攻撃者は wp.example.com の存在を知ることができず、攻撃不可となる。

② 公開サーバに別のものを使える？（指定DC）



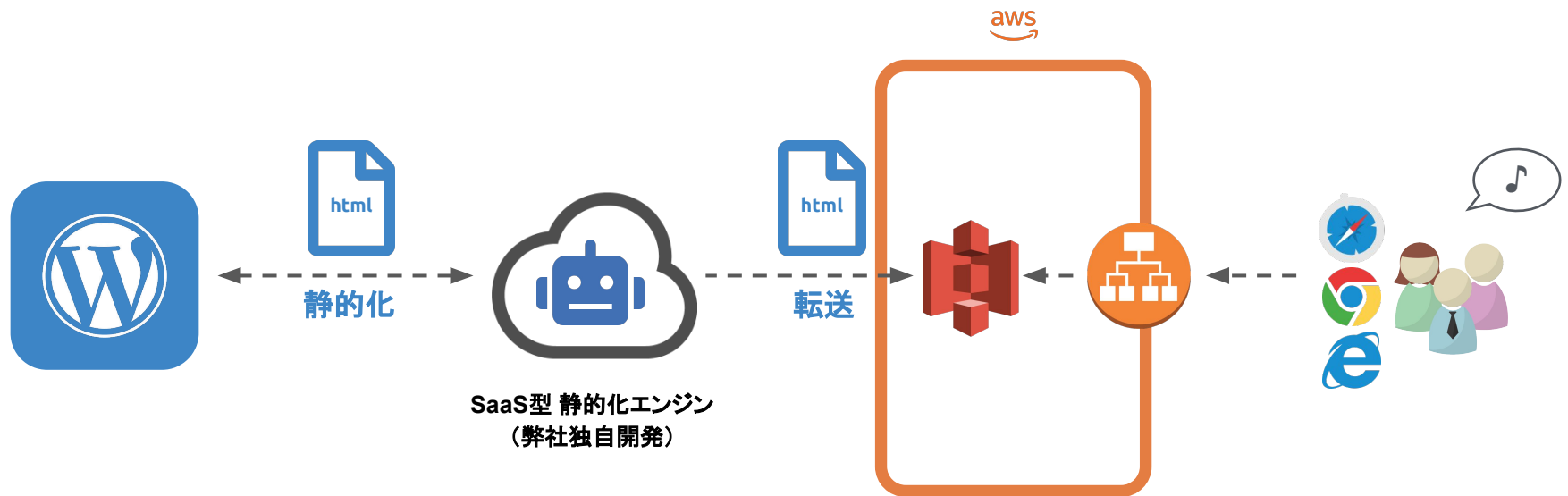
公開用サーバに弊社サーバを使用しないパターン
(別途追加費用が必要です。構築はroot権限に準ずる権限を頂き原則弊社で行います)

② 公開サーバに別のものを使える？ (IaaS)



静的化したファイルをお客様のAWS環境にデプロイ
(別途追加費用が必要です。AWSのIAMを頂き構築は原則弊社で行います)

公開サーバに別のものを使える？ (IaaS)



静的化したファイルをお客様AWS環境内のS3にデプロイ
(別途追加費用が必要です。構築はIAMを頂き原則弊社で行います)

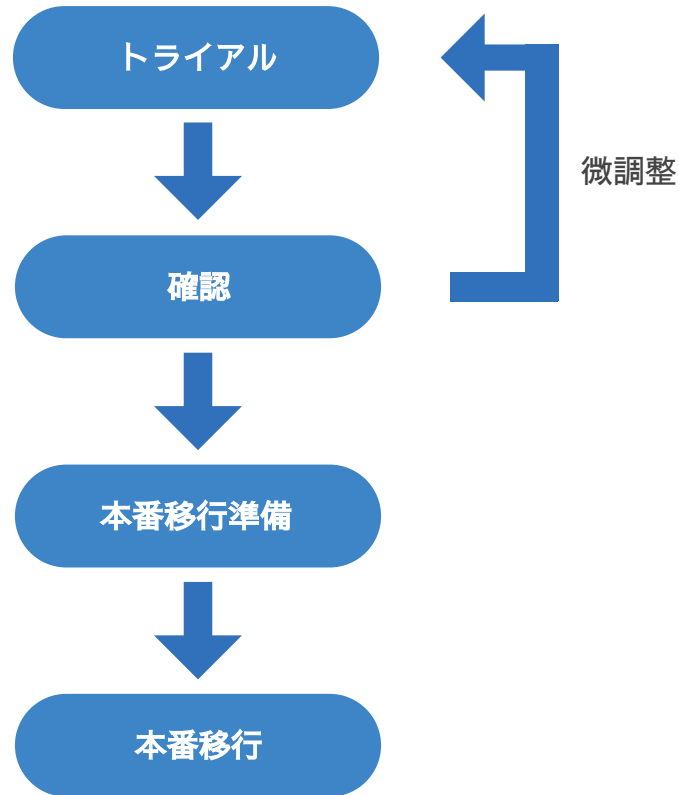


WAFやCDNで良いのでは？

	CDN	WAF	espar
セキュリティ確保	-	○	○
スピードアップ	○	-	○
設定作業 有事の対応	自己責任	自己責任	丸投げ可 (弊社が担当)
デメリット	キャッシュ制御 が極めて難しい	誤認識やゼロデイ 攻撃の回避困難	静的化が都度必要

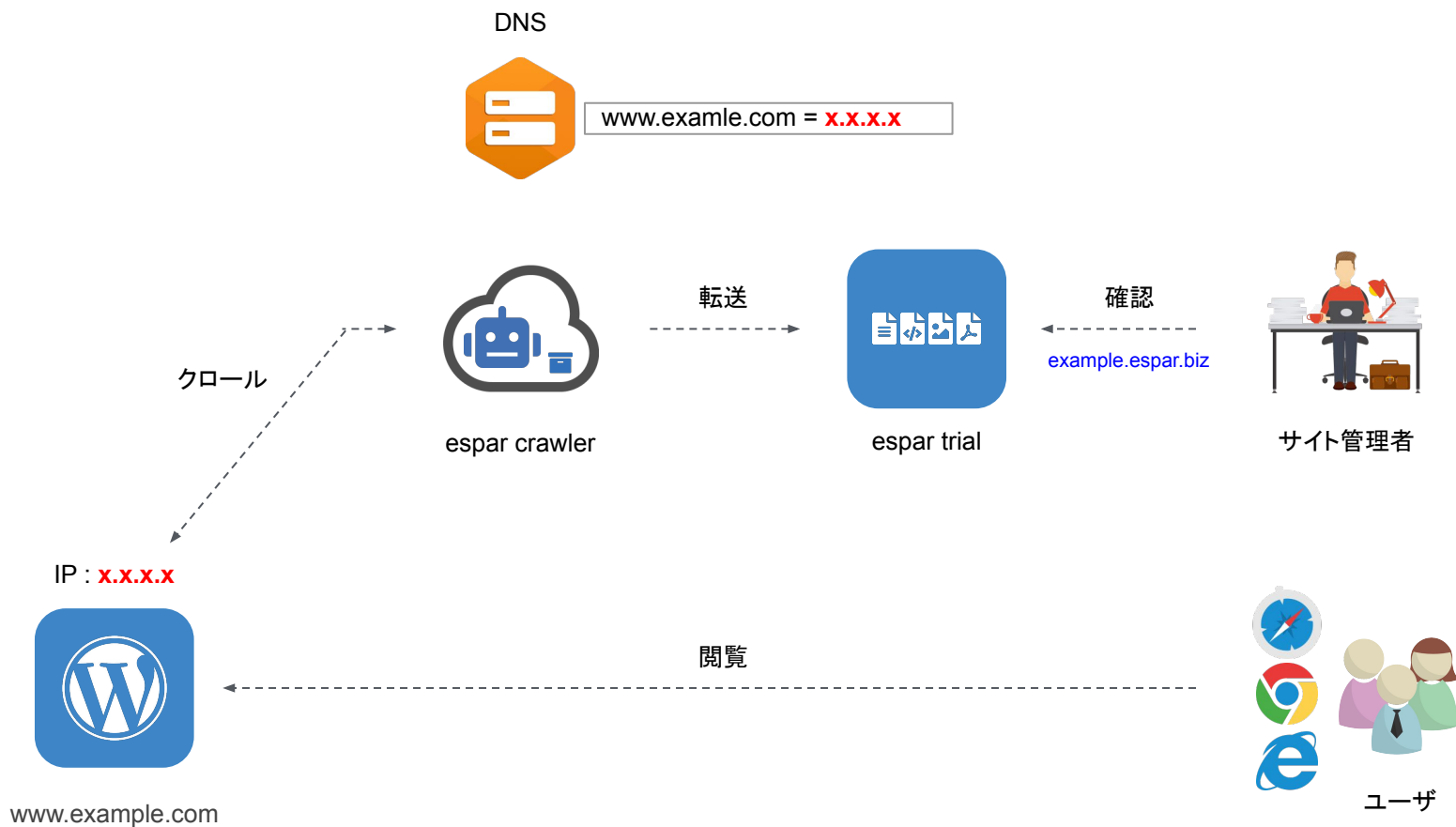
課題解決ツールは他にもあるが自己責任。また、意図した通りに動作させるには、Webサーバやhttpプロトコル、PHP、WordPressの広範囲かつ高度な知識が必要。
espar はそれら知見と実践をパッケージにしたサービスであり、ツールではない

① 導入手順は？



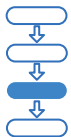
espar の導入に当たり、まず当社でトライアル環境を構築します。静的化によるサイトの再現ができているかどうかを御確認を頂いたのち、本番移行となります。

導入手順 (トライアル)

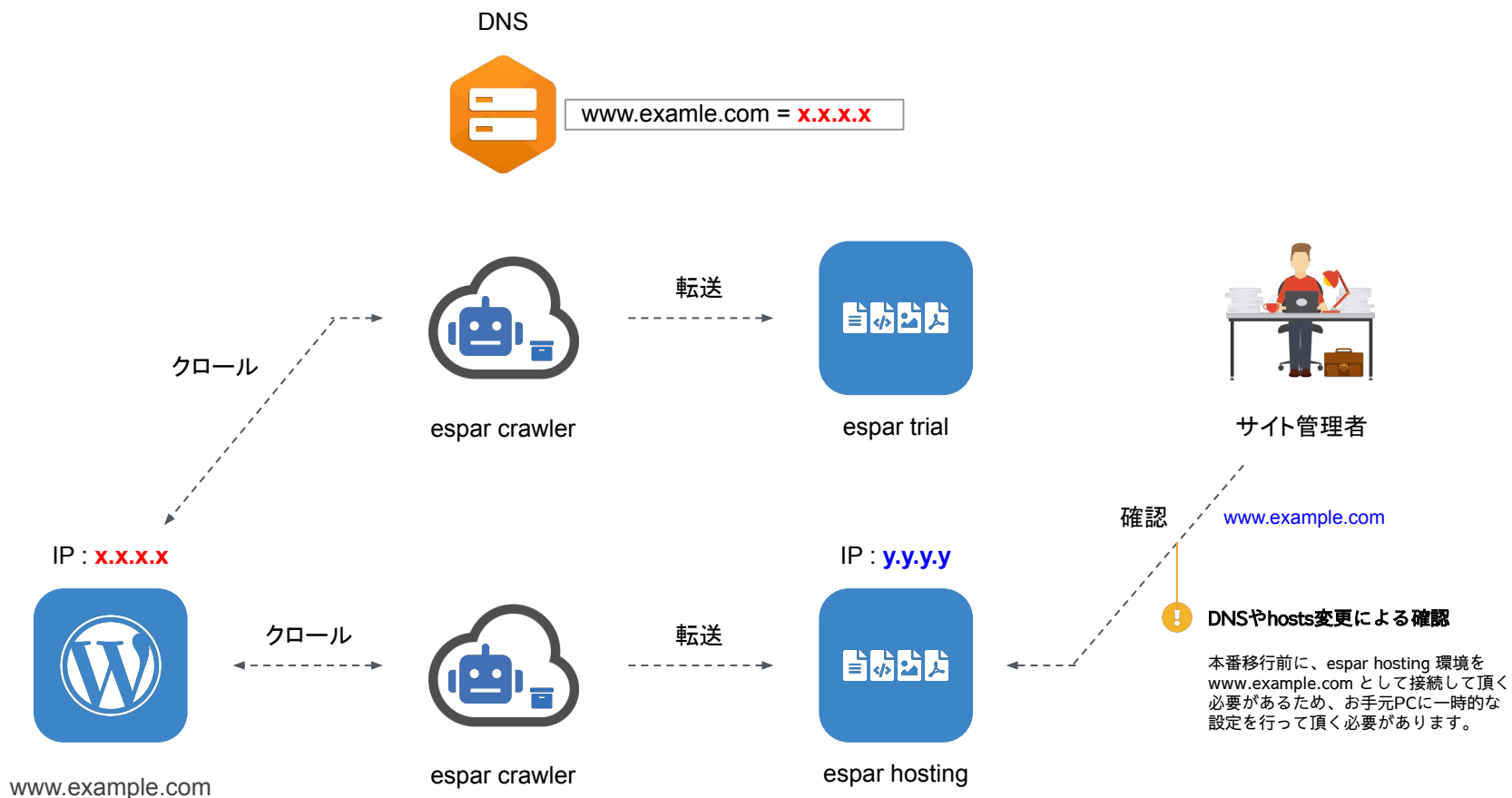


WordPressサイト (ホスト名を www.example.com とする) を espar crawler でクロールし、確認用のトライアル環境を構築します。トライアル環境には サイト識別子.espar.biz というホスト名を割り当てます。

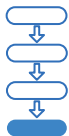
この間、ユーザは従来と変わらず WordPress サーバを直接参照しています。



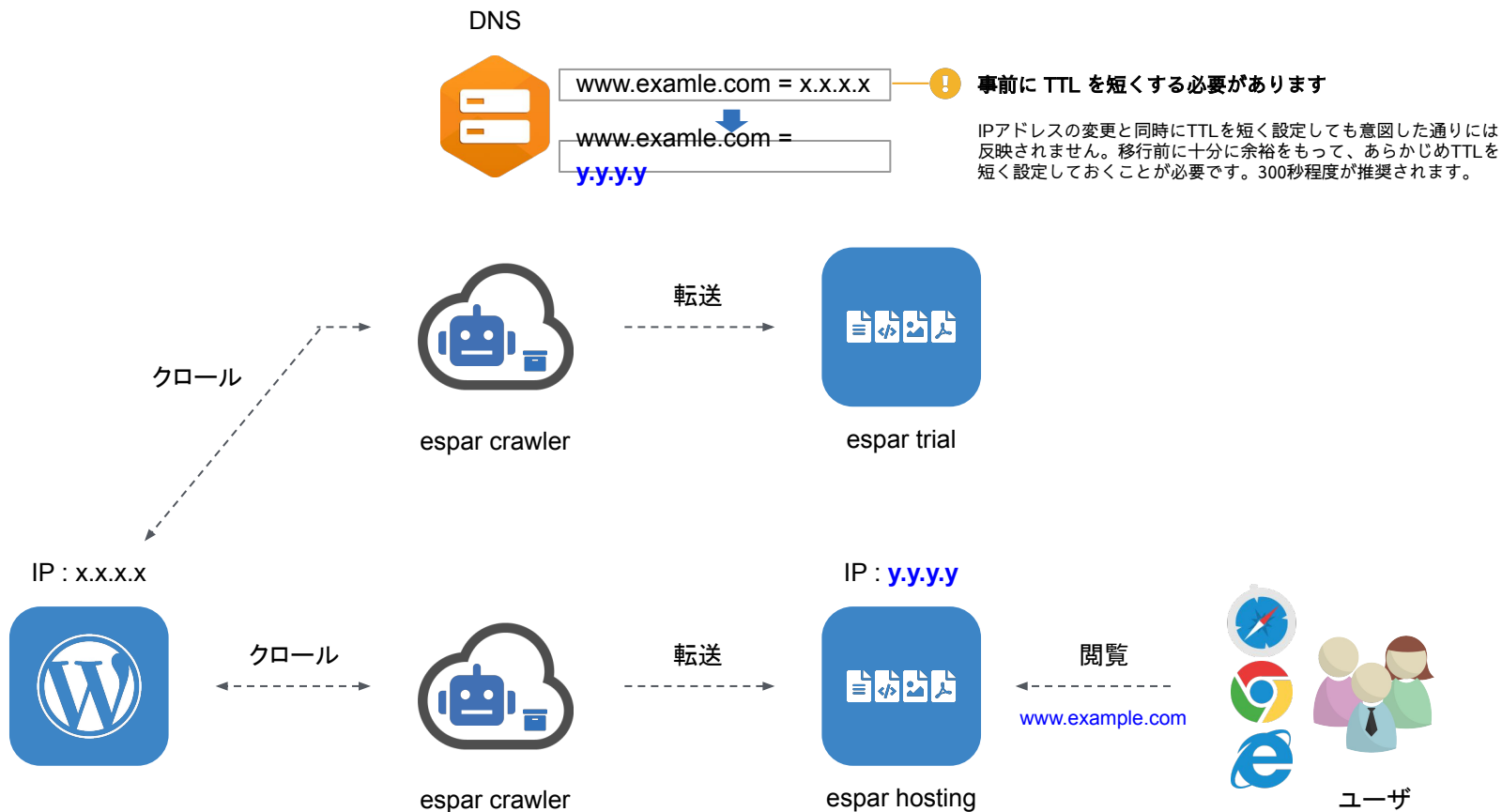
導入手順 (トライアル)



トライアル環境で正常に静的化ができていないことを確認できれば、本番移行の準備を行います。当社で公開用ホスティングサーバ (espar hosting) に同じ設定で環境構築します。完了後、公開用ホスティングサーバを www.example.com として接続し最終確認を行って頂きます。



導入手順（本番切り替え）



本番移行時は、DNSレコードを espar hosting 側に変更することのみです。DNS変更後、閲覧用のアクセスが WordPressサーバ側に直接届くことはなくなります。



espar の価格は？

静的化準備指標 ※1		0	1	2	3	4	5
初期費用		¥264,000	¥231,000	¥198,000	¥132,000	¥99,000	¥66,000
月額費用		¥13,200	¥10,560	¥9,240	¥6,600	¥4,400	¥2,640
サイト容量 ※2		10GBまで	10GBまで	10GBまで	10GBまで	10GBまで	10GBまで
サイト転送量 ※3		100GBまで	100GBまで	100GBまで	100GBまで	100GBまで	100GBまで
価格適用条件 p.4参照	サイト内リダイレクト無し	左記条件を 全て 満たさない	左記条件を 1つ満たす	左記条件を 2つ満たす	左記条件を 3つ満たす	左記条件を 4つ満たす	左記条件を 全て満たす
	URLパス末尾パラメタ無し						
	javascriptレンダリング不要						
	レスポンス対応済						
	動的要素(フォーム)なし						

価格は全て税込です。サイトのページ数は価格に影響しません。

※1 静的化し易いサイトほど料金が安くなります。ご提供機能に差はありません。静的化準備指標は弊社がトライアル環境を作成する際にサイトを精査して判定致します。条件は変更になる場合があります。

※2 容量上限を超える場合、1GB毎に ¥1,100/月 を頂戴致します

※3 転送量上限を超える場合、100GB毎に ¥1,100/月 を頂戴致します (目安：10万PV/月で転送量100GB程度)

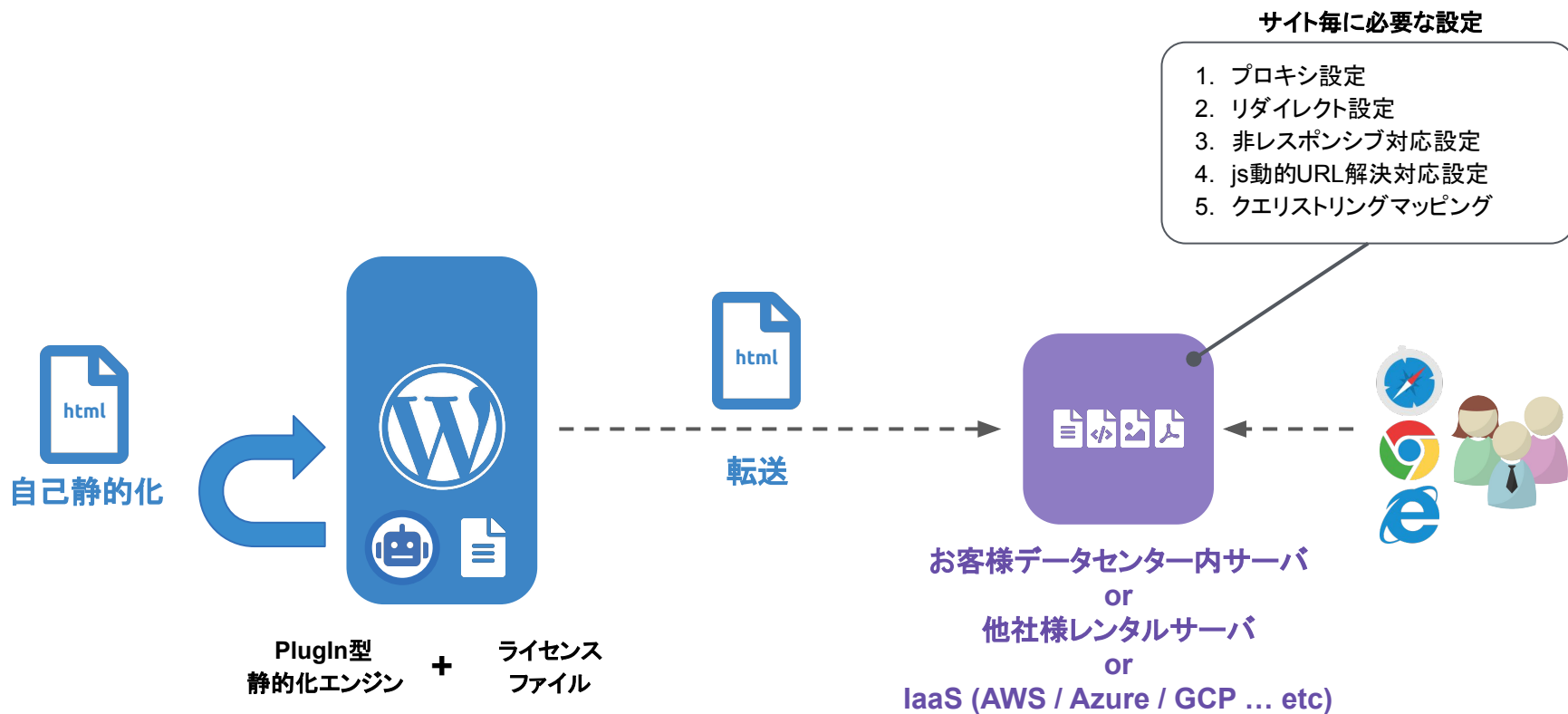
価格適用条件について

トライアルの申込時や見積り依頼時に、「対象サイトが静的化し易いサイトかどうか」を精査させていただきます。精査の結果に基づいて、基本の初期費用・月額費用を見積もらせて頂きます。以下条件に該当しなくても静的化準備指標が高い(費用が安い)診断結果が出る場合もあります。

サイト内リダイレクト無し	対象となるWebサイト内でリダイレクトが存在するかどうかを判定します。 .htaccessやWordPressのRedirectionプラグイン等でリダイレクト設定されている場合が該当します。 (例) https://www.example.com/category/company/ → https://www.example.com/company/
URLパス末尾パラメタ無し	対象となるWebサイト内のURL末尾にGETパラメタ表記が存在するかどうかを判定します。html上のURL表記に ? & = の全てまたは幾つかが含まれている場合が該当します。アンカーリンクの#はカウントされません。 (例) https://www.example.com/page?category=product&id=1
javascriptレンダリング不要	対象となるWebサイト内でjavascriptが実行されてはじめてURLが分かるようなサイト内リンク、CSS、画像の参照等が存在するかどうかを判定します。 javascriptが実行されなければURLが確定しないものが存在する場合が該当します。 (例) javascriptで タグのsrc属性に指定する画像ファイル名をランダムに変えている
レスポンス対応済	対象となるWebサイトがレスポンス対応しているかどうかを判定します。Webサイトがレスポンス対応しておらず、PC向け・スマホ向け表示をUserAgent判定やWordPressプラグイン等で切り替えている場合に該当します。
動的要素(フォーム)なし	対象となるWebサイト内の動的要素の有無を判定します。問い合わせフォームや検索フォームが存在する場合に該当します。そのほか、サイト精査の結果、閲覧者のアクセスの都度WordPressサーバ上のPHPが動作しなければならないことが判明すれば該当します。



静的化エンジンを提供して貰うことは可能？



静的化エンジン espar crawler を提供可能。WordPress Plugin形式 or Linuxコマンド形式
(公開サーバに静的化済ファイルを転送すること以外にサイトに合わせた適切な設定が必要)

espar 導入のメリット（まとめ）



- 理論的な最高速度に応答速度を引き上げる（*1）
- 理論的に大半のhttp/https層の攻撃を無効化する（*2）
- WordPressのアップデートがほぼ不要になる
- WordPressが破損してもサイトは公開され続ける
- WordPressサーバのスペックを低くして費用削減できる
- WordPressの管理画面が高速になる（負荷が減る為）
- WordPressの管理画面のセキュリティが自動で強化される（*3）
- WordPressのプラグインが一部不要になる
- 常時SSL化に自動的に対応できる
- 常時SSL化の為の証明書取得・更新費用が不要になる（*4）
- スピードやセキュリティの心配事を全て丸投げできる
- コンテンツ制作に専念できる

（*1）サーバ・クライアント・両者間の条件が等しい場合、静的化したhtmlファイルで応答する以上に高速な方法は理論上存在しません

（*2）PHPが動作しないため想定していない全てのURLへのアクセスは404エラーで応答します。従って大半のhttp/https層の攻撃は成立しません

（*3）一次受けする公開サーバ側で管理画面へのアクセス(/wp-admin/)にBasic認証とIP制限をかけるため、自動的に管理画面も安全になります

（*4）常時SSL化に必要な証明書の取得・設置・更新の全てを弊社が行います。これらの費用も espar の料金に含まれています

参考情報リスト

サービス紹介

- WordPress静的化サービス「espar」
https://www.feedtailor.jp/product_espar_about/
- 静的ページ向け問い合わせフォーム「espar form」
https://www.feedtailor.jp/product_espar-form/

技術資料

- 制作会社様向け espar 技術資料 (PDF)
https://www.feedtailor.jp/pdf/espar_tech_for_designers_201903.pdf